

★ メイン情報 ★

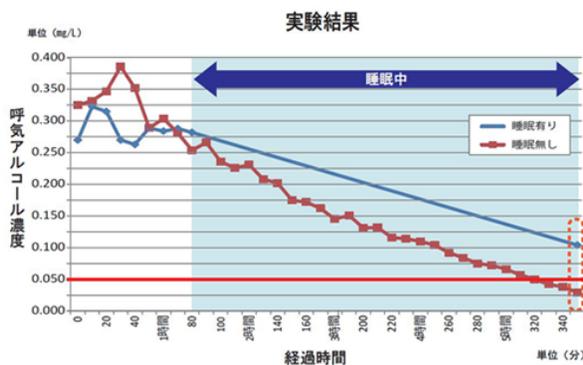
■社員実験シリーズ第7弾

【都市伝説？〇〇を飲めば早くアルコールが抜けるって本当？】

過去のメルマガでお酒を飲んで仮眠をとってもアルコールは早く抜けないって知ったけど、コーヒーを飲むと早くアルコールが抜けるとも聞くよ。本当かな？



ZEROの助太刀2017年2月号で、飲酒後仮眠をとってもアルコールは早く抜けず、むしろ遅くなったと取り上げましたが、他にも飲酒後に「オレンジジュース」や「コーヒー」を飲んだら、アルコールが早く抜けるということを目にします。飲酒後の行動で、アルコールの分解時間は短くなるのでしょうか？



飲酒後の睡眠（仮眠）実験のおさらい

2017年2月号で掲載した結果では、飲酒後4時間30分仮眠を取った場合と、取らなかった場合とで、呼気アルコール濃度は、約3倍もの差が出ていました。このことから、飲酒後仮眠を取ってもアルコールは早く抜けず、むしろ遅くなると言えます。

寝たらアルコールが早く抜けると思ってたなら、違ったんだ！



※飲酒後の睡眠（仮眠実験）とアルコール分解時間については、「ZEROの助太刀」2017年2月号をご覧ください。
http://www.tokai-denshi.co.jp/app/usr/downloads/file/825_20170210111631_download_file.pdf (ZEROの助太刀 2017年2月号)

当社社員Aさんに、右記条件で比較実験を行ってもらいました。1単位飲酒後、アルコールが早く抜けるというウワサのコーヒー、またはオレンジジュースを飲んだ場合と飲まなかった場合とで、アルコールの分解時間は短くなるのでしょうか？

※実験は適切な休肝日を設け、行っています。

純アルコール量の計算方法：

$$\text{アルコール飲料の量 (ml)} \times \frac{\text{濃度 (\%)}}{100} \times 0.8 (\text{比重})$$

1単位 ≡ 純アルコール量 20g

実験条件

- ・ お酒の種類：ハイボール（350ml・7%）
 - ・ 飲酒1時間30分後に下記飲料（200ml）を飲んだ場合と、飲まなかった場合とで比較
 - ①ブラックコーヒー
 - ②オレンジジュース（果汁100%）
 - ・ 飲酒時間：1単位につき30分以内
 - ・ 飲酒後の測定間隔：10分
 - ・ 実験終了条件：0.000mg/Lになること
- ※実験中の飲食は特別な条件や理由がない限り禁止

※アルコールの1単位については、「ZEROの助太刀」2016年7月号をご覧ください。

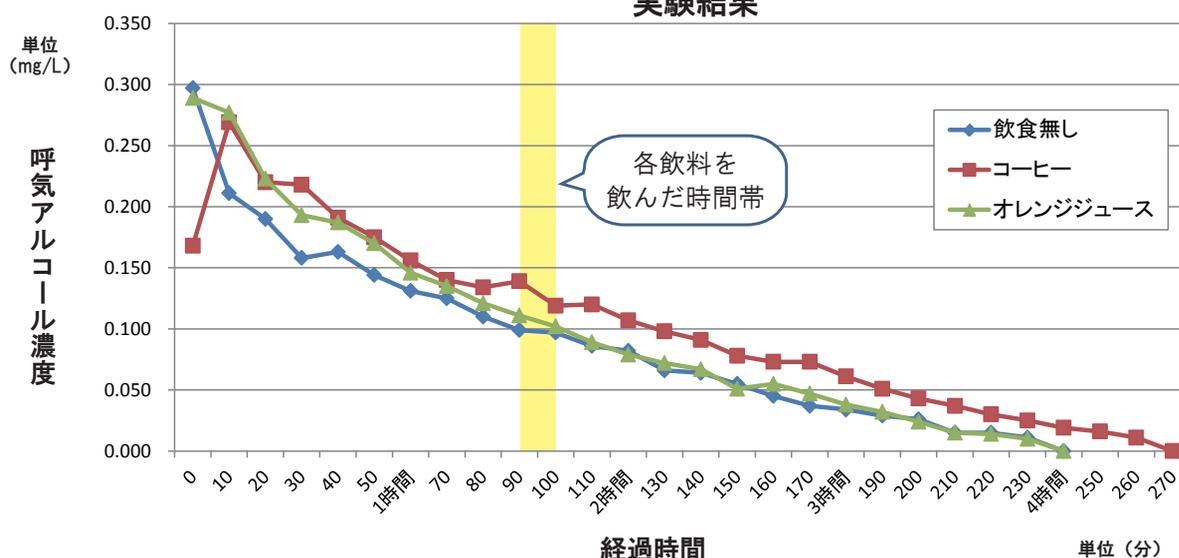
http://www.tokai-denshi.co.jp/app/usr/downloads/file/792_20160708111258_download_file.pdf

(ZEROの助太刀 2016年7月号)



アルコールの分解を手助けするのに柑橘類は良いつて聞き、飲酒後にコーヒーを飲むと、酔った感覚がなくなっていく気がするよ。今回は何もしなかった時よりも早くアルコールが抜けるんじゃないかな？

実験結果



※分解時間には個人差があり、その日の体調によっても影響されます。その他、肝臓に疾患のある方は、通常のアルコール代謝機能を有する方と比べ、アルコール分解に倍以上の時間がかかる場合があります。

今回の実験では、何もしなかった場合と、コーヒーまたはオレンジジュースを飲んだ場合とでは、各飲料を飲んだ前後ではアルコールの分解速度が速まる等の変化はありませんでした。

※コーヒーを飲んだ場合のみ、30分長くアルコールが残っていましたが、アルコールを分解するスピードは体調等でも変化するため毎回同じになるわけではありません。

飲酒後に仮眠をとったり、コーヒーで酔いを醒ます等の行動は、酔った感覚（気分）だけが変わるだけで、実際に体内のアルコールを早く分解しているわけではありません。自分の意識と、アルコールの分解能力を同じと捉えることは大変危険です。飲酒後は感覚に頼らず、「そろそろ酔いが醒めた気がする＝酔っている証拠」と考え、自動車等の運転はせず、迷わず公共交通機関や代行サービスを利用しましょう。

お酒を飲んだ後に、「アルコールが早く抜けるかも」と試していたことは、実は意味がなかったんだね。お酒を飲むなら、時間や、量も気を付けようね！



アルコール関連知識に関するバックナンバー

『ZEROの助太刀 2016年 7月号』

- ・アルコールの吸収 / 分解の流れ
- ・1単位について

http://www.tokai-denshi.co.jp/app/usr/downloads/file/792_20160708111258_download_file.pdf

『ZEROの助太刀 2016年 11月号』

- ・3つのアルコールに対する体質について

http://www.tokai-denshi.co.jp/app/usr/downloads/file/806_20161102160611_download_file.pdf

『ZEROの助太刀 2016年 12月号』

- ・道路交通法第65条 第1項関連（酒気帯び運転と酒酔い運転）
- ・アルコールの単位数比較実験

http://www.tokai-denshi.co.jp/app/usr/downloads/file/816_20161205110630_download_file.pdf

『ZEROの助太刀 2017年 2月号』

- ・飲酒後の睡眠（仮眠実験）とアルコール分解時間

http://www.tokai-denshi.co.jp/app/usr/downloads/file/825_20170210111631_download_file.pdf

『ZEROの助太刀 2017年 4月号』

- ・飲酒方法とアルコール分解時間

http://www.tokai-denshi.co.jp/app/usr/downloads/file/839_20170405160318_download_file.pdf

『ZEROの助太刀 2017年10月』

- ・お酒の種類に対する意識とアルコール分解時間

http://www.tokai-denshi.co.jp/app/usr/downloads/file/881_20171011090302_download_file.pdf

★ プチ情報 ★

■「アルコール」測定器だけじゃない？ 世界初！ニオイ認識・識別器 Aino-Pro 開発のお知らせ

東海電子って、アルコール測定器のイメージが強いけど、
新製品の「Aino-Pro (アイノプロ)」は、ニオイを分析するんだって！



Aino-Pro とは？

Aino-Pro (アイノプロ) とは静岡県ファルマバレープロジェクトにて、静岡県立静岡がんセンター研究所と東海電子とで共同開発した、人工知能で臭気判定する小型可搬型ニオイ認識・識別器です。今後、がん病巣から放たれる強いニオイ成分を分析し、成分に対し最適な消臭方法を選択できることで、個々の患者のケアに役立てられると期待しています。



ポイント① 可搬型ガス分析装置

100種類近くのVOCガス(揮発性有機化合物)を分離・識別できる高感度で可搬型のガス分析装置(簡易ガスクロマトグラフ)を搭載しているため、どこでも簡単にニオイ成分を分析することができます。

ポイント② 人工知能(AI)搭載

装置内部の人工知能がそれぞれのニオイの特徴や、微弱な変化を発見し、学習させることで、ニオイの識別が可能となります。



きっかけは、がんで苦しんでいる人たちの
ケアの1つとして開発がされたものなんだね。
病気以外にも、ニオイに悩まされていることが解決できないかな？

今後の展望

Aino-Proではニオイ判定を行うために、ニオイを事前に学習(測定)することから始めるため、万能なニオイ識別装置ではなく、カテゴリ別ニオイ識別装置として開発方向を展開していく予定です。

共同開発企業・研究所大募集

今後、無償モニター機を準備し、共同開発する研究所あるいは企業を募集し、人の嗅覚感度を超える超感度センサーと高速判定を継続して開発していく予定です。

製品の仕様・システム構成等については下記URLよりご確認ください。
http://www.tokai-denshi.co.jp/app/usr/downloads/file/901_20180131125944_download_file.pdf

カテゴリ一例

口臭測定



食品加工工場



薬物等ドーピング検査



※上記は一例です。必ずしも上記であげた例のみの用途とは限りません。

その他 Aino-Pro に関する問合せ先・資料請求先

東海電子株式会社 医療システム機器事業部
東京都立川市曙町2-34-1 オリンピック第3ビル203号室
TEL:042-526-0905 / FAX:042-526-0906
E-mail:info@tokai-denshi.co.jp
URL:http://www.tokai-denshi.co.jp

東海電子株式会社 事務局
水野

東京都立川市曙町2-34-13
オリンピック第3ビル203号室
TEL:042-526-0905 FAX:042-526-0906
<http://www.tokai-denshi.co.jp/>